

科目名称：	幼児と表現B	
担当者名：	朝倉 喜裕	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
様々な表現の基礎的な知識・技能を学ぶことを通し、幼児の表現を支えるための感性を豊かにする。特に歌遊びや歌唱表現の構成力、表現力、展開力を身に付け、楽曲の簡易伴奏も独自に構成し、保育現場での実践に役立てることを目指す。		
授業の達成目標・到達目標		
領域「表現」の指導に関する、幼児の表現の姿やその発達及びそれを促す要因、幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びなどについて実践的に学び、幼児期の表現活動を支援するための知識・技能、表現力を身に付ける。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)	60	25	15		100
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 領域「表現」のねらい及び内容の理解、基礎的な知識・技能の確認+歌唱表現練習	領域としての「表現」の意義とねらいの整理及び音楽基礎知識の整理	40分
第2回 〈言葉と表現〉+歌唱表現練習	言葉と音楽の関係整理及び「チューリップ」「ぶんぶんぶん」の歌唱表現整理	40分
第3回 〈歌と表現〉 +歌唱表現練習	「きらきら星」「こいのぼり」の音楽構成復習と弾き歌いの練習	40分
第4回 第1回から第3回のまとめ+歌唱表現練習	第1回から第3回までの歌唱曲の復習と「こいのぼり」小レポート(宿題)のまとめ	60分
第5回 幼児の発達の理解 音楽と言葉遊び+歌唱表現練習	「かごめかごめ」「あくしゅでこんにちは」の音楽遊び整理と復習	40分
第6回 豊かな表現のために 歌遊びとリズム遊び+歌唱表現練習	「手をたたきましょう」歌遊びの整理と弾き歌い練習と読譜練習プリントの学習	40分
第7回 豊かな表現のために 拍子の変化や変奏と歌遊び+歌唱表現練習	「きらきら星」の変奏(リズムの変化)復習と弾き歌い練習	40分
第8回 豊かな表現のために 和音のしくみと歌遊び+歌唱表現練習	和音のしくみの整理とコードネームの復習と読譜練習プリントの学習	40分
第9回 豊かな表現のために 和音の変化と歌遊び+歌唱表現練習	和音の変化の整理とコードネームの復習及び左手コード練習(以後も継続)	40分
第10回 第5回から第9回のまとめ+歌唱表現練習	第5回から第9回までの楽曲復習と「とけいのうた」小レポート(宿題)のまとめ	60分
第11回 豊かな表現のために 調の変化と音楽表現の変化+歌唱表現練習	「チューリップ」「きらきら星」の移調の復習と左手コード練習の継続	40分
第12回 幼児の表現を受け止め共感するために 簡易伴奏の基礎と歌唱練習	歌遊び、リズム遊びの復習とコードと簡易伴奏の整理と練習	40分
第13回 幼児の表現を受け止め共感するために 簡易伴奏の展開と歌唱練習	簡易伴奏の形式の整理と「七夕」に関する小レポート(宿題)のまとめ	60分
第14回 第11回から第13回のまとめ	第11回から第13回までの復習と授業内小テスト(左手のみのコード演奏)の練習	60分
第15回 全体のまとめと復習 実践を通して保育の場における音楽表現活動について考える	リズム、コード、各楽曲に関する講義の復習(試験対策)と音楽遊びの表現練習	60分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)3回をまとめることと、毎回の表現の復習と練習となる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業内習熟度チェック(25%)、提出課題の評価(15%)		
課題に対するフィードバック		
提出小レポートは内容をチェックし、模範レポートのプリントと一緒に返却する。読譜練習プリントは、配付の翌週に解答し、学生各自が採点したものを回収する。		
教科書・参考書		
テキスト 「おんがくのしくみ-歌って動いてつくってわかる音楽理論」(今川恭子、志民一成、木村充子著、教育芸術社)、 「幼児保育の歌とリズム」(楠景二 編、音楽之友社) 参考書・参考資料等 「器楽課題曲の冊子」		